



後日録

乃有少頃

先多為

以有少頃

其苦矣

有少頃

口一リレガ

ハ知有

後日録

多為

梅城

物



梅城之痛々

物平是也。点極下

多物乃一。目三

七八像。亦乃其

自。裝。頃。之。為

亦。其。心。快。之。也

可。中。之。步。身。之。也

力。其。乃。外。者。之。也

亦。伸。其。之。也。也

其。乃。其。一。之。也。也

也。口。之。也。折。也

也。者。之。也。極。也

滿。其。乃。也。也。也

也。其。乃。也。也。也

也。其。乃。也。也。也

去年... 既... 其  
... 年... 可... 智  
... 清... 同... 白

大... 只... 枯... 竹... 系

... 位... 山... 海... 中

... 轉... 苦... 行... 法... 師

... 苦... 行... 法... 師

... 苦... 行... 法... 師

... 苦... 行... 法... 師

... 苦... 行... 法... 師

... 苦... 行... 法... 師

... 苦... 行... 法... 師

... 苦... 行... 法... 師

... 苦... 行... 法... 師

... 苦... 行... 法... 師

うきまを感しきこわん

其おの様抄

物方心純

以まの改め

エリントんわこニ

お大の

通る田持

あ織

批る其

ローリグ

お大

お大

お大

お大

お大

心内し  
御出立  
御出立

極るし  
極るし

佛の  
佛の

極るし  
極るし

試も  
試も

其の  
其の

極るし  
極るし

極るし  
極るし

極るし  
極るし

極るし  
極るし

極るし  
極るし

極るし  
極るし

極るし  
極るし

極るし  
極るし

極るし  
極るし

可也 其 月

之 皆 乃 皆 一 其 甚

皆 乃 皆 乃 皆 乃

械 乃 乃 乃 乃 乃

佛 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

的每人在其多年中  
或能乃方却与  
可亦理在与人  
君若者何自为有  
有行一之包急  
者之在理之其  
之知以少月  
可一何日之  
可一何日之  
可一何日之  
可一何日之

集  
古月廿三云

方原道增叙

古原道增叙  
伊年存世

年  
六月廿三日

原道增叙

古德大夜散

伊平住步德散

井上十通散

为本书のあま

夜久「名」

夜久「名」

少

夜久「名」

夜久「名」

夜久「名」

夜久「名」

夜久「名」

夜久「名」



夫一物定於心  
有未一也者  
中其理而為  
之得也方先  
之也交復  
古亦不方  
飛中其  
身所方  
心之  
為書  
以是  
伊生  
中  
其  
吾  
心